

環境配慮型舗装の取り組みに関するアンケート調査結果

○調査概要

1. 調査目的

環境配慮型舗装の取り組みとして行った緑化ブロック舗装について、周辺に住む市民がどのように感じ、また道路への関心があるか調査することにより、今後の道路行政の参考とすることを目的とし調査を行いました。

2. 調査対象

調査対象者数：68人

3. 調査方法

職員による調査票配布、郵送回答

4. 調査内容

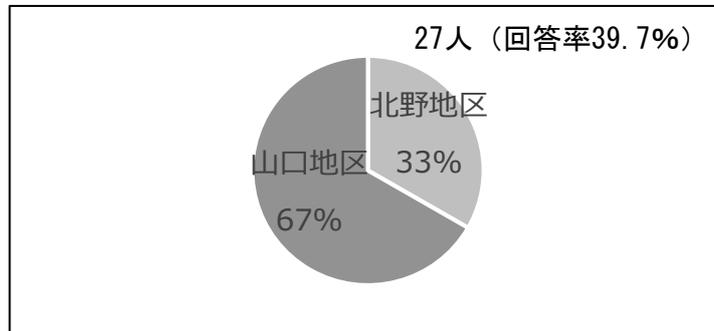
質問番号	質問内容
① 道路緑化施策	取り組みについて、率直にどのように思いますか？
② 関心度	取り組みを知ったことにより、環境に配慮する道づくりに関心を持ってましたか？
③ 緑化	生活道路が緑化されていることをどのように思いますか？
④ 維持管理	維持管理に対するご意見をお聞かせください。
⑤ 取り組み展開	砂利道の舗装に限らず、市内の他の箇所もこの取り組みを広げた方がよいと思われますか？
⑥ ゼロカーボンシティ	当市が2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにするゼロカーボンシティを目指していることはご存じですか？
⑦ 人を中心にしたまちづくり	当市が人を中心にしたまちづくりの推進をしていることはご存じですか？
その他	自由意見

道路の環境配慮推進事業に関するアンケート調査結果

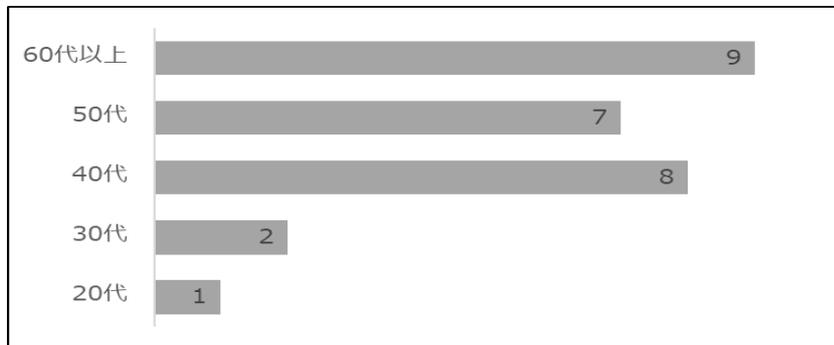
(ホームページ公開用)

■回答属性

回答者数

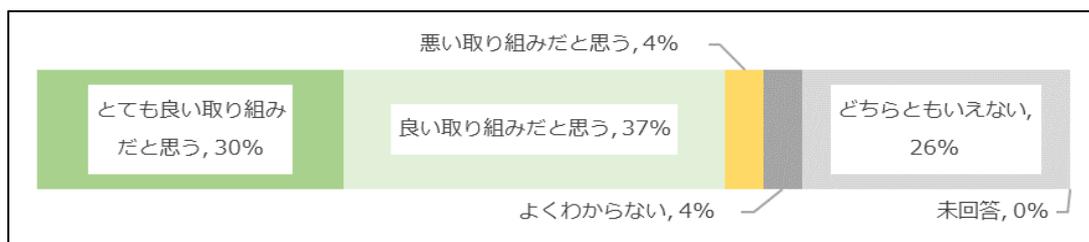


年代



■質問に対する回答

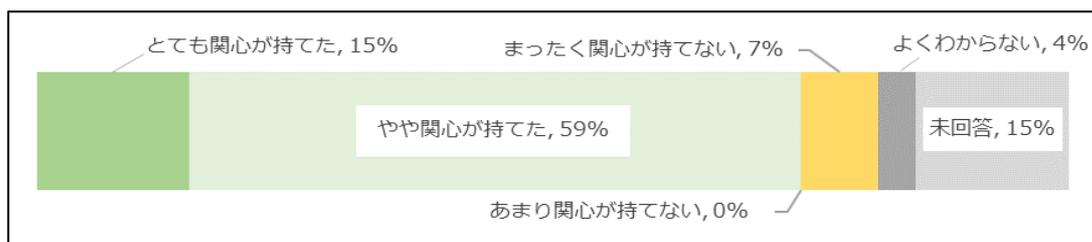
①道路緑化施策



○ 道路緑化施策の取り組み

- ・「良い取り組みだと思う」と答えた人は、約7割となっている。
- ・「どちらともいえない」「よくわからない」と答えた人は、3割となっている。
- ・「悪い取り組みだと思う」と答えた人は、1割に満たなかった。

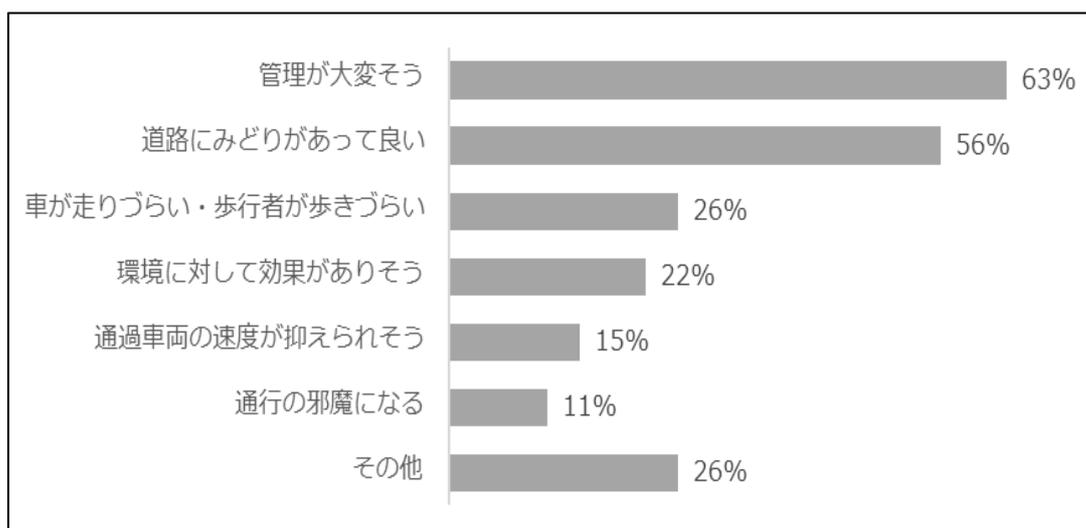
②関心度



○ 環境に配慮する道づくりへの関心

- ・「関心を持てた」と答えた人は、7割半ばとなっている。
- ・「よくわからない」「未回答」と答えた人は、約2割となっている。
- ・「関心が持てない」と答えた人は、1割に満たなかった。

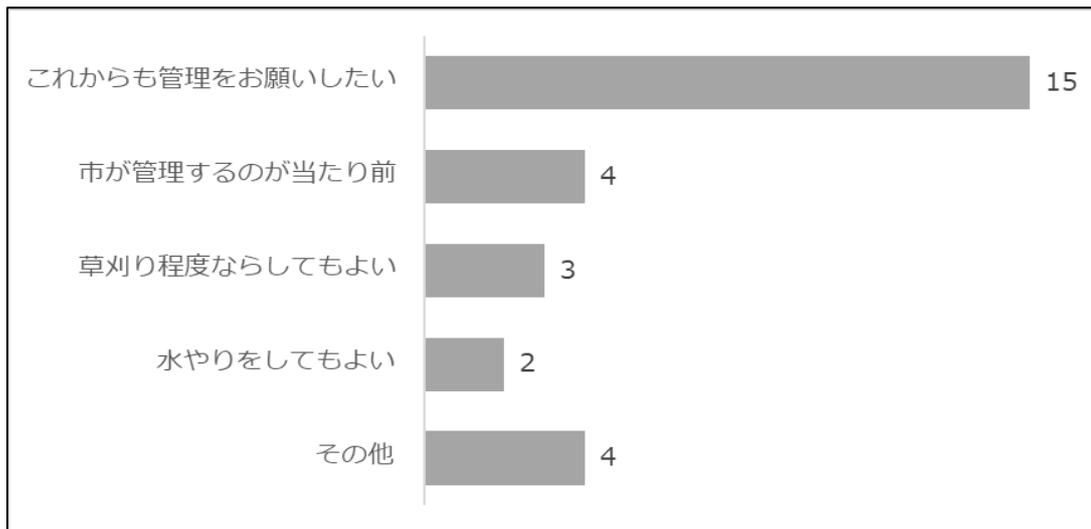
③緑化



○ 生活道路の緑化

- ・「管理が大変そう」と答えた人は、約6割となっている。
- ・「道路にみどりがあって良い」と答えた人は、5割半ばとなっている。
- ・「車が走りづらい・歩行者が歩きづらい」「通行の邪魔になる」と答えた人は、合わせて3割半ばとなっている。
- ・「環境に対して効果がありそう」「通過車両の速度が抑えられそう」と答えた人は、合わせて3割半ばとなっている。

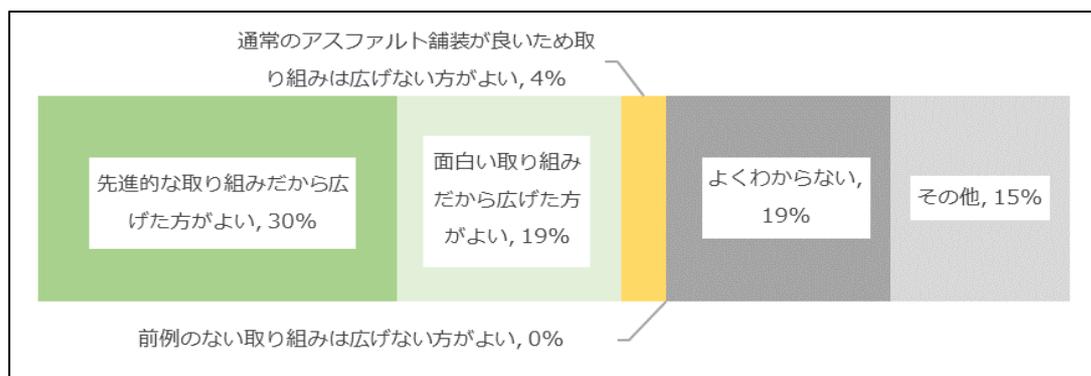
④維持管理



○ 道路の維持管理

- ・「これからも管理をお願いしたい」「市が管理するのが当たり前」と答えた人は、合わせて約7割となっている。
- ・「草刈り程度ならしてもよい」「水やりをしてもよい」と答えた人は、合わせて約2割となっている。

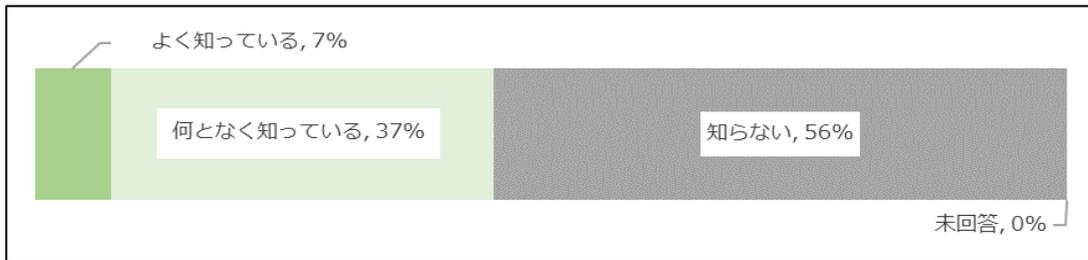
⑤取り組み展開



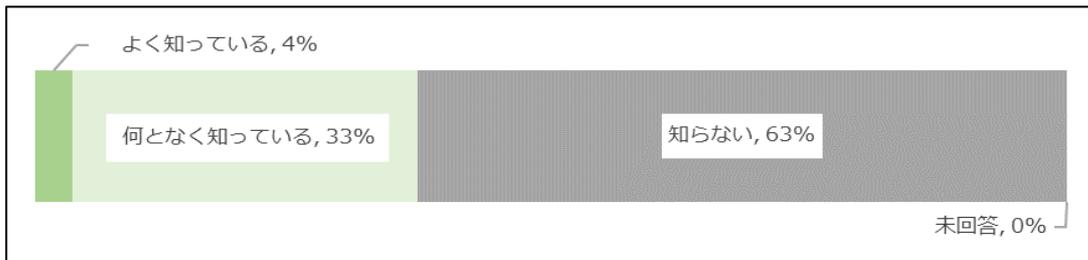
○ 道路緑化事業取り組みの展開

- ・「広げた方がよい」と答えた人は、約5割となっている。
- ・「よくわからない」と答えた人は、約2割となっている。
- ・「広げない方がよい」と答えた人は、1割に満たなかった。

⑥ゼロカーボンシティ



⑦人を中心にしたマチづくり



○ ゼロカーボンシティおよび人を中心にしたマチづくり

- ・ いずれも「よく知っている」「何となく知っている」と答えた人は、合わせて約4割となっている。
- ・ いずれも「知らない」と答えた人は、約6割となっている。

■その他及び自由意見

意見（抜粋）

- ・ 管理を徹底できるなら良い取り組みだと思います。
- ・ 管理コストが気になる。
- ・ 良い取り組みですが、維持に負担がかかるのが気になる。
- ・ 継続するのなら業者の協力も必要なのは。
- ・ この様な道路が増えれば街がきれいに見えると思う。
- ・ 自転車も走りづらい。これっぽっちの緑化では環境への効果もなさそう。
- ・ 走りづらい道なので基本的には広げないでほしい。
- ・ 砂利道の緑化の必要性を広く広報してほしい。
- ・ もっと市民にPRが必要です。